

入院患者及び家族の皆様へ

転倒・転落防止のお願い

市立大津市民病院では患者さんに快適で安全な入院生活を送っていただくために、生活環境を整備しながら事故防止に努めています。

入院生活では、自宅と異なった環境で生活することになります。

環境の変化や体力の低下、運動機能の低下ですべったり転んだりすることがあります。

また、治療で目が見えるようになったり、今まではできなかったことができるようになったり、行動範囲が広がり転ぶことがあります。

次の点に気を付けていただき、すべったり転んだりしないようにご家族の方もぜひご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

脱げにくい履物を履きましょう

スリッパやサンダルは脱げやすく、思わぬところでつまづくことがありますので気をつけましょう。
脱げにくく履きなれた靴をお持ちください。



ベッドからは、注意して降りましょう

ベッドから降りる時は、足がしっかり床に着くように腰掛け、ベッド柵を持って立ち上がりましょう。身体の向きを変えるときなどはバランスを崩しやすく転ぶことがありますので注意しましょう。
枕もとの明かりをつけて移動しましょう。



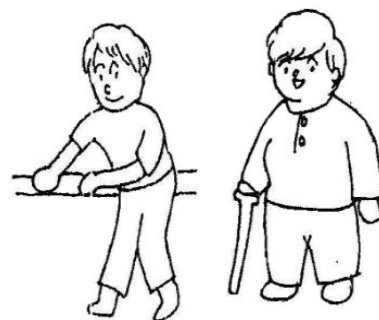
足元に注意しましょう

トイレに行くときは足元に注意しましょう。
床が濡れているとすべりやすく、危険です。
トイレ・洗面所・シャワー室など水周りでは特に注意しましょう。



手すりや杖を利用しましょう

大丈夫と思っても筋力は落ちています。
廊下や階段は手すりを利用しましょう。



薬によってはふらつく場合がありますので注意しましょう

睡眠剤・鎮痛剤・利尿剤など服用した場合はふらつきの原因になります。
寝る支度をして飲みましょう。
起きがけは特に注意しましょう。



★すこしでも不安なときは看護師を呼んでください。

★疑問な点は、主治医・看護師に
遠慮なく相談しましょう。

★床が濡れている時はお知らせください。

